

# 第760回 立教開宗会

## 4月27日午後2時より

### 日蓮宗管長

### 内野日総猊下御親修

# 清澄

平成24年3・4月  
合併号

発行所  
〒299-5505 千葉県鴨川市  
清澄322-1  
© 清澄寺  
TEL 04 (7094) 0525 番  
FAX 04 (7094) 0527 番  
振替 00140-5-55501

印刷所  
天津 (南) プラザー印刷  
送料共1部100円

東日本大震災一周忌法要



## お知らせ

4月

27日  
立教開宗会

5月

27日 19:00  
信行会 (唱題行)

6月

27日 19:00  
信行会 (唱題行)

7月

21日 8:00~15:00  
22日 8:00~12:00  
妙見宮大祭  
27日 19:00  
信行会 (唱題行)

### 東日本大震災 物故者一周忌 法要奉修

一万五千人を超える尊い生命を奪い、日本に未曾有の被害をもたらした東日本大震災が発生してから早一年が過ぎました。

その三月十一日に祖師堂において、東日本大震災物故者一周忌法要が厳修されました。

導師を務められた二宮別當は、犠牲物故者の回向と被災地の早期復興を祈念され、副導師の宮崎執事長は全国檀信徒よりお申し込みを頂きました卒塔婆供養の回向を行いました。

卒塔婆供養代金の一部五万円を被災地復興のために寄付させて頂く事にいたしました。

# 道善御房 第七三七遠足 法要

三月十六日は日蓮大聖人の恩師である道善御房の祥月命日でした。

朝勤終了後、宮崎執事長を導師に道善御房の墓前にて第七三七遠忌の報恩法要を厳修致しました。



読経につづいて、宮崎執事長は報恩抄の一節「されば花は根にかえり、真味は土にとどまる。この功德は故・道善房の精霊の御身にあつまるべし」と奉送上し回向をなされました。

## 研修会館を会場に 教研大会 開催

三月五日、研修会館を会場に千葉県教化研究大会が開催されました。

開催趣旨を「震災復興・佛教復興」と題し、講師には、小谷みどりさんと正木晃氏。

参加者は定員を超える人数となり、熱心に一日を過ごされておりました。



# 第4回 房総丘陵トレイルラン

三月四日に、南関東最後の原生林を有する山岳原野を走る大会が行われました。

昨年までは清澄寺はゴール地点となっていました。が、本年は清澄寺がスタートとゴールとなる周回コースでの大会でした。



片桐鴨川市長の挨拶

境内ではスタート前に、片桐鴨川市長(日澄寺住職)の御挨拶があり引き続き、宮崎執事長から参加者の皆



宮崎執事長の挨拶

皆さんに、当山の寺歴と無事完走の挨拶を述べました。その後、片桐市長の大鐘を撞いてのスターターとなり、厳寒の中六百名を超える参加者で、大変な賑わいをみせました。

参加者の中には、順位を競う人や参加する事を楽しむ方達等、それぞれでしたが、大きな怪我や事故もなく参加者の九十九%の方が完走することが出来ました。



スタート時は東京マラソンとも匹敵?

# 日々読み上げ祈願・回向のご案内

当山では、朝の勤行の折にお預り致しました祈願・回向を勤めております。

※読み上げ祈願・回向は、1日千円でございます。  
※1週間・10日間・20日間・1ヶ月間等、お受けできますのでご案内申し上げます。

## 〓ご祈願(例)〓

- 。学校の試験当日〜発表までの間
- 。ご自分の願掛けを数日間
- 。當病平癒では祈願数ヶ月間
- 。安産祈願では予定日までの数日間
- 。その他、各種祈願承ります

## 〓ご回向(例)〓

- 。〇〇〇〇〇〇霊位ご命日までの1週間
- 。〇〇家先祖代々霊位お盆中の3日間
- 。お彼岸中の1週間
- 。〇〇〇〇〇〇霊位新盆にあたる為1ヶ月間

※詳細は、清澄寺 庶務部まで

電話〇四一七〇九四一〇五二五

※ここからは前号・前々号の抜粋記事となります。

## 千年杉の検診

国指定の天然記念物であります大スギ(千年杉)が、十一月十二日に精密器械での検診を行いました。



(クレーンで高所作業)

千年杉は老木なので、切ったり穴を開けたりしないで音響波によって内部の診断をする方法でした。

単木としては全国第二位の杉でありますので、精密診断をすることにより、今後の保存計画をたてていきたいと思っております。

## 年末年始の行事

大晦日は夕刻までにおおかたの準備が万端整い、年末年始の行事が、十九時からの除夜祭で始まりました。

法要は二宮別當を導師に、山務員が出仕。

本堂〜祖師堂と法要が厳修され、年越しの参籠者(四十名)の方々も参列され、それぞれ読経の中、感謝の焼香をされておりました。

### ●水行

寒風の中、二十三時三十分、村田執事補を導師に大森主事、小澤・林・遠山各



師による水行式が行なわれ  
ました。

参籠の檀信徒や新春初詣  
の方々の見守る中、水行肝  
文を唱へ、気合いを入れて  
の水行でした。

水行が終わりますとその  
周りに張り巡らされた弊束  
を、我先にと参詣者の方々  
がお取りになり、一年間無  
病息災の御守りとして持ち  
かえられました。

●一番祈祷

二十四時を過ぎますと、  
新年最初のご祈祷を受けよ  
うと参詣祈願者で堂内は一  
杯となり、全国から一番祈



持の申し込みも含め、数百  
体の祈願札が並ぶ中、修法  
導師に宮崎執事長導師のも  
と、厳修しました。

●初日の出



(参列者に挨拶をされる別當)

本年は曇り空の中、研修  
会館より唱題行脚にて檀信  
徒とともに旭が森へと歩み  
ました。

天気予報が小雨予報で、  
ご来光は拝めませんでした  
が一同にお題目を唱え、一  
年の無事を祈願致しまし  
た。

# 節分会



二月三日、毎年恒例の節  
分追儼法要が、天候にも恵  
まれ、晴天の中奉行されま  
した。

大堂では早朝より、地元  
漁業組合の皆様をはじめ、  
多くの参拝者に、節分特別  
祈祷がおこなわれ、全山木  
剣の妙音が響きわたってお  
りました。

午前十一時になると、研  
修会館から、地元消防団員  
の金棒を先頭に、二宮別當、  
片桐鴨川市長、清興出演の  
五月みどりさん、ご来賓の  
皆様のお練り行列がおこな

われ、五月みどりさんを一  
目見ようと集まった参拝者  
より大きな歓声が上がって  
おりました。

大堂に到着すると、節分  
追儼法要が厳修され、法要  
後、祖師堂特別ステージに  
おいて、参拝者の年中安泰・  
無病息災を祈り豆まきが行  
われました。

「福は内 福は内 福は  
内」二宮別當の声高らかな  
発声のもと、豆まきははじ  
まると、境内を埋め尽くし  
た参拝客は、「福は内」と  
いう掛け声とともに飛んで  
くる豆を両手を広げて受け  
取っておられました。

その後、研修会館にて、  
五月みどりさんによる清興  
がおこなわれ、観客の前ま  
できて歌を歌う、握手にも  
笑顔で応じるといったサー  
ビスに、会館内は拍手喝采



で盛り上ったステージとな  
り、参拝者からは「たくさ  
んの福をいただきました。」  
とのお声が聞かれました。

## 恒例の豆まき

「暑さ寒さも彼岸まで」  
と言うことわざがありますが  
が、今年は彼岸になっても  
寒い天候でした。

まさに二十六年ぶりの寒  
さを締めくくるような結果  
となりましたが、梅と桜の  
開花が同時に見られると言  
う珍しい光景を目の当たり  
にし、遠めから見ますと、  
花にくわしく無い方はどち  
らが桜でどちらが梅？なん  
て方もいらつしやったので  
はないでしょうか？

あの東日本大震災から一  
年がアツと言う間に過ぎま  
したが、当山では正当の十  
一日に祖師堂にて法要を奉  
修致しました。

テレビ新聞等でも報道さ  
れておりましたが、被災関  
係者におかれましては、改  
めて謹んでお見舞い申し上  
げます。